

第1学年 生活科学習指導案

平成24年11月3日(土) 5校時

1年1組 25名 指導者 喜屋武さつき

1年2組 25名 指導者 普久原 万里

1年3組 26名 指導者 宜保 まきえ

1年4組 26名 指導者 仲宗根 千明

1年5組 26名 指導者 川之上 亜紀子

1 単元名 あそびにいこうよ「あきのあそび」

2 単元目標

(関)四季の移り変わりに、関心をもつことができる。

(思)自分が見つけれられた「秋」の良さを感じとり、写真の見出しやコメントで表現することができる。

(気)季節の変化によって自然や人々の生活や様子が変わること気づくことができる。

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、身近な自然を観察し、四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気づき、自分たちの生活を工夫したり、楽しくしたりすることをねらいとする。新聞には、季節感のある写真が掲載され、児童が様々な秋の自然の美しさを感じ取ることができる。他にも、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋についての記事や、地域にはあまり見られない各地の秋祭りなど季節感のある行事を新聞から見つけることができる。単元のまとめとして、新聞に載っている季節の写真を見て、自分のお気に入りを選ぶ。そして、グループ新聞作りを行い、伝え合う活動を通して、児童は身近には見られない秋に気づいたり、季節に対する理解を深め、親しみを感じることができると考える。

(2) 児童観

土地柄やこれまでの生活経験から、「沖縄の子は四季感がない」と言われたり、児童の中には「沖縄には秋がなくすぐ冬が来る」という子もいたりするなど、秋のイメージが薄いと思われ、年中草木が緑に覆われる中、数少ない紅葉に気づかないでいる。そこで、校庭や公園などで、秋をさがしたり遊びを工夫したり新聞を使って色々な秋に気づかせ、新聞を使った秋さがしで、児童が「秋ってきれい」「秋って楽しい」と感じることができ、他の季節へも関心をひろげさせることができると考える。

(3) 指導観

「秋ってどんな季節？」から秋を想像させ、本や図鑑から秋を調べ、その情報をもとに新聞から記事を集めさせる。さらに、写真を見て、秋を意識し、秋の良さを感じさせながら、見出しやコメントを自分の言葉で表現させたい。

「うるま市実践9項目」との関わり

ねらいを明示した授業の実施【授業の導入時に本時のめあてを明示し、学習への見通しと意欲付を図る。】

教材・教具の工夫【新聞や付箋紙の活用】

板書の工夫【学習の流れが分かるように、順を追って、活動内容を板書する。】

形成的評価の実施【記事集めが不十分な場合は補習時間を活用して支援する。】

自己評価の実施【学習後の振り返り(感想、他のグループの良さ)を付箋紙に記入。】

言語環境の整備と言語環境の充実【グループ発表の場で感想を交流し合う。】

家庭学習と授業の連動【記事集め】

習得したことを活用する場の設定【国語で学習した話型を活用して発表する場を設ける。】

学習習慣の確立【学習用具の準備、ベル席、学習態度(聞く・書く・話す)等の学習のきまりを意識させる。】

4 本時の学習 (3 / 3 時間)

(1) ねらい

- ・新聞から秋の記事を選び、秋らしいコメントや見出しを書くことができる。
- ・各グループの作成した記事を見て、いろいろな秋に関心をもつことができる。

(2) 授業仮説

- ・グループ新聞作りの場において、夏との違いを意識した秋らしい見出しやコメントを表現させることにより、四季の中での「秋」の特徴や良さに気づくであろう。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点 (実践 9 項目)	評価
導入 5分	1 前時の内容を確認する。 (レイアウト・役割分担)	・前時まで準備した秋新聞のレイアウトをグループで確認させることで、本時で行なう作業が円滑に進むように指示する。 家庭学習と授業の連動	
	2 本時のめあてと本時で行なう活動を知る。	・児童の理解しやすい言葉にしてめあてを確認させる。 ねらいを明示した授業の実施	
あつめた「あき」のきじで、グループしんぶんをつくろう。			
展開 30分	3 新聞名とグループメンバーの名前を書く。	・学習の流れが分かるように、順をおって活動内容を板書する。 板書の工夫	
	4 レイアウトしてあった紙面をもとに、新聞記事を用紙(グループ新聞)に貼る。	・前時で作成した新聞レイアウトを元に、グループで役割分担をさせ(どの記事を誰がどこに貼る等)、協力し合っ て記事を分類し、丁寧に貼っていくように指示する。	
	5 コメントや見出しを書く。	・注目してほしい記事は、コメントや色使いによって目立たせることができることを知らせる。 形成的評価の実施 言語環境の整備と言語環境の充実	・自分が選んだ秋の 写真について コメントを書く ことができている。 (観察)
	6 グループ新聞の展示会をする。	・各グループの新聞を黒板に展示して、自分たちの新聞との違いや良さ、新聞の特徴を発見しながら、読んだり見たりさせる。 習得したことを活用する場の設定 学習習慣の確立	・友達が選んだ写真や コメントを、興味を持って 見ることができている。 (観察)
	7 他グループ新聞の感想を発表する。	・今日の感想や、他のグループの良さを付箋紙に書かせる。 「上手」「おもしろい」だけの感想ではなく、必ず「(何が)上手」「(何が)面白い」のか詳しく発表させる。 教材・教具の工夫 形成的評価の実施 自己評価の実施 習得したことを活用する場の設定	
まとめ 10分	8 学習の振り返りを行い、次時の予告を聞く。	・夏、秋と同様に冬の新聞を作ることを伝え季節の変化に興味をもつきっかけをつくる。 ・冬の新聞記事集めをするよう、呼びかける。 家庭学習と授業の連動	

(4) 評価

- ・新聞から秋の記事を選び、秋らしいコメントや見出しを書くことができたか。(技能)
- ・各グループの作成した記事を見て、いろいろな秋に関心をもつことができたか。(関心・意欲・態度)